



穴をあけて綴じてください



崇敬会大祭(11月3日)における添釜

初詣では氏神さまから

崇敬会会員と家族の昇殿参拝

平成二七年一月三日午前一〇時三〇分(第1回)

午前一一時三〇分(第2回)

一月三日の午前一〇時三〇分からと一一時三〇分からの2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な祈祷「一陽来復御守」の神札が授与されます。なお、一月の「誕生祭」の方は第1回目にご参拝ください。

崇敬会では新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお、境内には、甘酒進上の席も用意いたします。

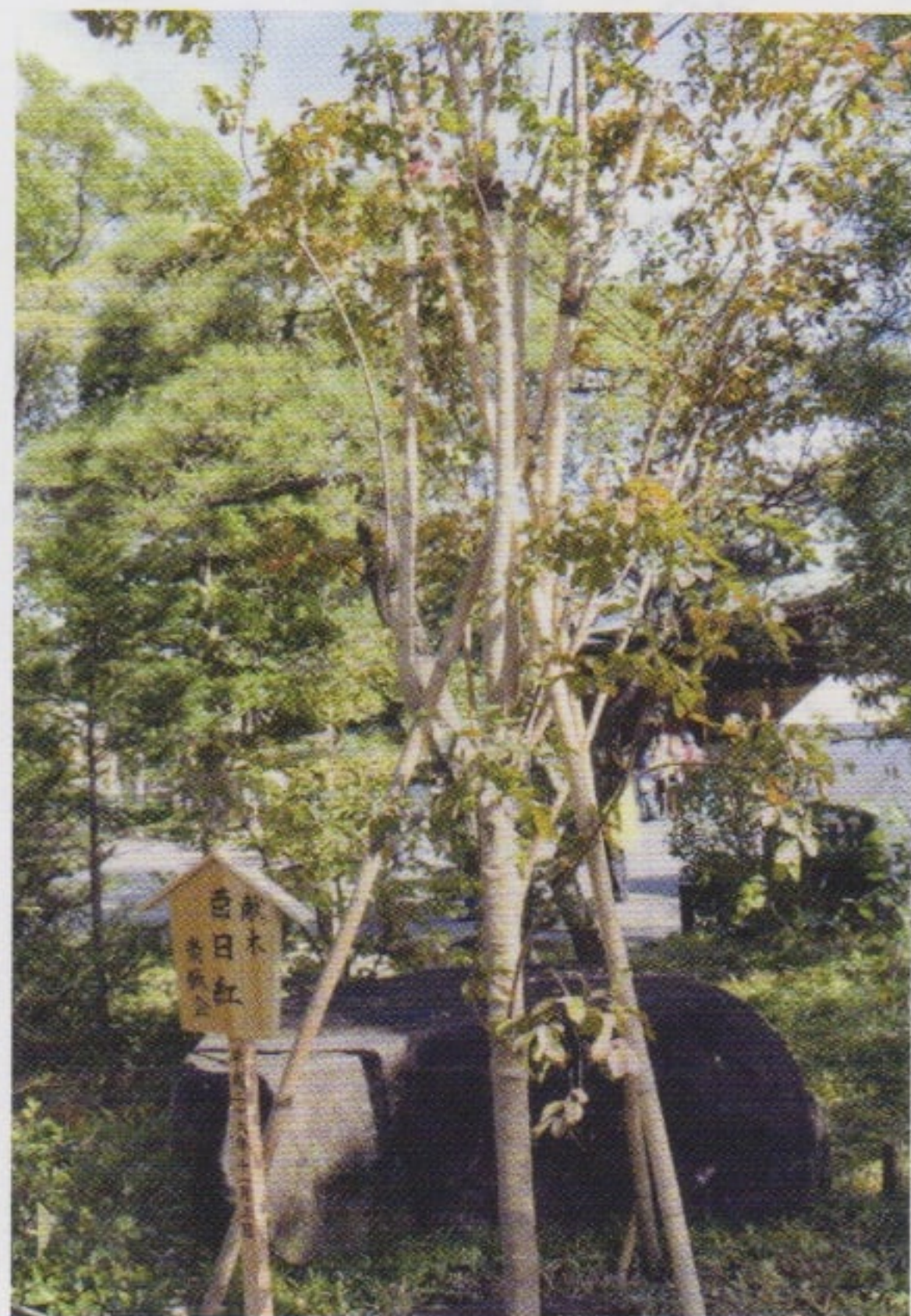
ご家族そろって多数ご参拝ください。

ご神幸祭・崇敬会大祭、執り行われる

六月八日（日）の祭礼には神社の式之神輿が国道西側の氏子の町会を巡りました。また、子供神獅子舞（大田区指定無形民俗文化財）は国道の東側の町会を道行きし、各神酒所で演舞しました。



上：巡行する式之神輿
 下の右：神楽殿で演舞する子供獅子舞
 下の左：仲六郷町会連合渡御神輿の宮入り



十一月三日（月・祝）には崇敬会の大祭が催されました。昇殿参拝を行った後、献木式が執り行われ、崇敬会奉献として「百日紅」が植樹され、境内では添釜も行われました。また、鈴木明参与からは崇敬会に添釜道具一式が寄進されました。

上：植樹された「百日紅」
 右：鈴木明参与より寄進された添釜道具一式



旧六郷橋の親柱

慶長五年（一六〇〇）に徳川家康が架設した「六郷大橋」は、貞享五年（一六八八）の洪水により流失して以来、六郷と川崎の渡河は一八六年間の長きにわたり渡し船でした。

明治七年（一八七四）に八幡塚村の名主鈴木左内さないが、私財を投じて有料橋を架けました。この左内橋も四年後の明治十一年（一八七八）の洪水により流失しました。その後、八幡塚村議会の有志六名とともに架橋を共同出願し、明治十六年（一八八三）に「（旧）六郷橋」が開通しました。

この木橋は明治三十年（一八九七）に架け替えられ、京浜電気鉄道（現・京浜急行）



へ売却され、人とともに電車が木橋を渡りました。しかし明治四十三年（一九一〇）、当地を襲った大型台風による洪水により流失しました。

木橋の流失後、東京府と神奈川県が共同で木製の仮橋を架けましたが、交通の発達とともに橋の強度を完全なものにすることが課題

となり、大正九年（一九二〇）両府県折半で鋼鉄製の新橋建設が決定しました。大正十四年（一九二五）、鉄筋コンクリート製タイドアーチ式の先代「六郷橋」が開通しました。

昭和元年（一九二六）、旧六郷木橋の遺構である親柱は、切妻屋根きりづまを付して六郷神社の境内に保存されまし

た。建立したのは旧出雲町の氏子総代金子重太郎でした。

時を経て親柱を保護する屋根に傷みがみえるため、平成二十六年（二〇一四）、金子重太郎の三男・金子重雄氏と重太郎の孫・東六郷一丁目氏子総代金子義裕氏が屋根を更新、修復しました。

（力石富司記）

◆新入会員紹介

港区六本木

（有）永和

島田幹生

西六一・戸羽良子

仲野泰昭

仲野幸子

西六二・杉山明子

仲六三・是川美知枝

崇敬会第9期役員決まる

左記のとおり第9期役員を選出しました。会員のみなさまの一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。(平成二六年六月二日現在)

宮司

鈴木武司

禰宜

鈴木祐一

顧問 神社責任役員

一色孝雄

江部謙五

顧問 初代会長

森田賢治

顧問 二代会長

喜多絹子

参与

梅澤喜代造

会長

増渕國昭

副会長

石渡建司

岩崎勝

吉田恒男

本多薫

常任理事

石渡成 拓(総務)

石渡治美(総務)

石渡義仁(会報)

一色弘三

今井哲夫

蛸崎田鶴男

金子義裕

上川原一枝(会計)

桑原研次

杉山恵一

須山温夫

田畑久雄

坪井徹夫

出川恭央

外所隆子(総務)

飛田弓子(書記・会報)

野村和子(書記・会報)

平野卓治

村上鈴江(会計)

山中明

吉田エミ子(会計)

若林勉

理事

足利好枝

小野暁子

小沼秋雄

今村将則

金輪雅夫

神部守

代田重樹

高橋好行

長谷川靖

板東栄三輔

前嶋さなえ

増渕三枝子

監事

吉野鷹夫

竹内昭信

◆お知らせ

恒例となっております神社参拝バス旅行は、来春二月に実施の予定です。詳しいことは別途お知らせいたします。

◆平成二六年度会費納入のお願い

年会費(平成二六年四月一日より二七年三月三十一日まで)未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納めください。社務所でも受け付けております。なお、すでにお納めの方は失礼をご容赦ください。

発行 六郷神社崇敬会

〒一四四一〇〇四六

大田区東六郷三一十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三―三七三二―二八八九

振替 〇〇一九〇一六一―二三五五三

編集 平野卓治